



やまざきひろ 山崎邦廣 議員

Q 凍霜害による被害状況は

A 山ぶどうはほぼ全域で被害



凍霜害による農作物の被害状況

議員 県内各地で果樹などの凍霜害が発生しているが、**当町の農作物被害の状況は**

町長 5月23日の早朝、町内全体を低温と強い霜が襲い、甚大な凍霜害が発生した。

被害は速報値ベースで、山ぶどうは町内栽培面積900アールのうち、ほぼ全域で新芽や若葉が凍死する被害が発生。

葉たばこは10、15パーセント程度の減収が見込まれている。

この他、園芸作物、デントコーン等においては一部で被害が見られるものの影響は限定的であると見込んでいるが、今後の生育への影響などを引き続き注視していく。

今後、最終的な着果数や収穫量を見極める必要があるが、栽培農家が安心して営農を継続できるよう、関

今後の対応方針・考え方

議員 凍霜害の分析を基にした今後の対応方針は

町長 気候変動への対策は恒常的な課題としてとらえる必要があると認識している。

町としては「農家の経営安定」、「将来的な生産量の維持発展」、「特産品であるワインの原材料確保」の3点を優先事項として短期・



凍霜害にあった山ぶどう園場(鍋倉地区)



被害前の山ぶどう園場(鍋倉地区)

中長期の両面から関係機関と連携し、被害の最小化や対策を図っていく。

最新の防除技術を取り入れるなどし、栽培農家が希望を持って生産に取り組めるよう、また「ワインの町」のブランドを守るため凍霜害に強い持続可能な山ぶどう栽培の確立に向けた支援策を講じていく。

用語の解説

※インクルーシブ遊具

年齢・性別・障がいの有無などに関係なく、誰もが一緒に遊び、楽しさを共有できるようにデザインされた遊具。互いを理解し、多様性を尊重する心を育むことも目的としている。



インクルーシブ遊具の例

※DX(デジタルトランスフォーメーション)

デジタル技術を活用して仕事やサービス、暮らしの仕組みを見直し、より便利で効率的なものへ変革する取り組み。新たな価値を生み出し、社会や生活をより豊かになることを目指す。

Q 子どもの笑顔を守る公園づくりを

A 遊具の点検と計画的な更新



たけはな ゆい 竹花 結 議員



関係人口の拡大と持続可能な地域経済活性化

議員 交流人口拡大の成果と関係人口創出における取り組みは

町長 くずまき高原牧場や地域資源を活用した誘客事業やスポーツ合宿誘致などにより交流人口拡大が図られてきた。

一方、観光客数の回復や継続的な関係づくりが課題となっているため、DMO事業や若者との協働、移住体験ツアー、応援コミュニティ構築などを通じて、関係人口の拡大と定住人口の確保につなげていく。

議員 事業者減少への支援策は

町長 商工会会員は15年間で119事業所減少。町では振興基本条例を制定し、設備導入や融資、経営革新販売促進など各種支援を実施している。

今後関係団体と連携し、事業継続や賑わい創出を推



総合運動公園に設置されている木製遊具



公園整備やインクルーシブな遊び場環境の整備

議員 総合運動公園遊具の安全点検と改修計画は

町長 商工会を重要なパートナーと位置づけ、イベントや商品券事業で連携してきた。

今後も経営相談、事業継承、人材育成、創業支援に取り組むほか、DX推進やキャッシュレス化支援など社会変化への対応も進めていく。

町長 木製遊具について毎年の定期点検と日常点検を実施し、必要に応じ修繕を行っている。

現在の遊具は4年度に改修済みであり、今後も標準使用期間を目安に更新を検討し、安全な遊び場環境を維持していく。

議員 小規模公園整備とインクルーシブ遊具についての考えは

町長 現時点で新たな公園整備や遊具追加の考えはないが、利用状況や住民ニーズを踏まえ必要に応じて検討する。

インクルーシブ遊具については理念や重要性を認識

しており、ニーズや費用対効果、財源等を総合的に勘案し導入の可否を検討する。

議員 全天候型交流スペース整備は

町長 屋外公園は天候や猛暑、クマ出没などの課題がある。

現在は「くずまき」の交流スペース等を活用しており、今後は既存公共施設や遊休施設の活用を含め、多世代が利用できる屋内交流空間の在り方を検討する。